



千葉みつこ通信

皆様こんにちは！日頃より心強いご支援をいただきまして大変にありがとうございます。
これからも皆様の声を町政に届けられるよう全力で走り抜いてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

✽9月議会 定例会報告✽

平成26年9月定例議会は、9月1日から22日までの22日間の会期で開催されました。今議会に提案された議案は、条例の制定3件、条例の一部改正6件、規約の変更1件、補正予算6件、利益剰余金の処分1件、決算認定6件、人事1件、報告2件、合計28件が上程され慎重な審議が行われました。

<一般会計決算>

歳入総額	108億5,142万円
歳出総額	104億8,702万円
歳入歳出差引額	3億6,440万円

(うち翌年度へ繰り越すべき財源1億38万円)

<25年度主な事業>

○後期高齢者医療療養給付負担金	○介護給付・訓練等給付費
○埼玉西部環境保全組合負担金	○国民健康保険特別会計繰出金
○子ども医療費の支給	○武州長瀬駅北口周辺地区整備事業
○西入間広域消防組合負担金	○川角中学校大規模改造工事



<特別会計決算>

国民健康保険	<歳入総額>	46億3,575万1千円	<歳出総額>	44億7,665万8千円
農業集落排水事業	<歳入総額>	2,893万2千円	<歳出総額>	2,283万8千円
介護保険	<歳入総額>	19億2,464万9千円	<歳出総額>	18億5,449万3千円
後期高齢者医療	<歳入総額>	2億9,974万2千円	<歳出総額>	2億9,350万3千円

<水道事業会計>

事業収支	<収益>	7億4,237万円	<費用>	6億8,998万円
資本的収支	<収入>	93万5千円	<支出>	3億8,498万8千円

☆ごみ減量化(2)

※要望) 廃油をリサイクルして作る植物性のクリーンなバイオディゼル燃料(BDF) クリーンなエネルギーとして欧米で使用され始め国内でも京都府など自治体レベルで使用が始まっています。大気汚染の防止や廃食用油の回収・リサイクル促進、河川や海岸の汚濁防止などのメリットがあると言われている。又、福岡県大木町ではごみの分別を徹底し大きな成果を上げている。この様な先進自治体の事業も是非、参考にして頂きたい。

☆高齢者の支援対策

問) 高齢者介護支援ボランティア等にポイントのお考えがあるか伺う。

答) 制度の運営は、自治体が介護予防事業として行いボランティアの登録や手帳の交付、ポイントの管理・付与は、地域の社会副社協議会などが行う事例が多い。超高齢社会を乗り切る地域づくりに有用な手段の一つと認識している。今後も社会福祉協議会等関係機関と連携を図りながら調査研究して参りたい。

問) 近年、高齢化の進展に伴い、視覚障がい者のみならず視力が低下した高齢者など、読み書きに支障がある人への支援の必要性が訴えられています。専門の窓口開設で、代筆・代読支援の充実を図る考えを伺う。

答) 現在、本町においては、専門の窓口は開設していませんが、代筆・代読が必要な方が来庁された場合には職員が可能な限り代筆・代読等の手伝いをさせていただいている。もろやま広報に関しては、町の朗読ボランティアが希望者に無料で朗読テープの配布を行っている。

※要望) 我が国における高齢化が急速に進む中、高齢者が安心して暮らせる地域を作りが極めて重要な課題！前向きな検討を！

☆ 私の一般質問

☆健康マイレージの取り組み

問) 昨年の9月議会で情報収集を行い検討すると答弁を頂いていたが、1年が経過したことを踏まえ再度お考えを伺う。

答) 日頃の健康づくりへの取り組みをポイント化し、住民の健康づくりに対する自主的な参加を促すものです。厚生労働省において、今後保健事業として位置づけ、内容を示すとの情報もあるので前向きに検討したい。

問) ホームページに「健康マイレージの効果は必ずあるものと考える」とありましたが、町長の健康マイレージにかける意気込みを伺う。

答) 町では特定健診の受診率が40%と県内の中では2番目に位置していて良い状況である。これを更に高めて行く、或いは、がん検診をしっかりと受けて頂き早期発見をするその中にこのマイレージをうまく利用したやり方で納得のいくシステムで、毛呂山町ならではのマイレージを進めて参りたい。
※自治体によってやり方は様々。是非、毛呂山町独自のマイレージを！

☆ごみ減量化(1)

問) 本年は特に60周年記念行事が目白押しの中どの様にごみ減量化に取り組んでいるのか伺う。

答) 大きなイベント等では、ごみの持ち帰りやごみ箱を設置しない、又、出店者の方に容器等の自主回収に努めて頂いている。

問) 最終的に、ごみは各地域の集積所に出ることになると思うが、又今後リユース食器の利用を検討との事だが、リユース食器とはどのようなものなのか伺う

答) イベントなどで使用されるもので、使い捨てではなく、繰り返し洗って再利用する食器です。コストを浮かせる事も可能となり、リユース食器を用いることで環境への啓発効果や出店者のイメージアップにも期待出来ます。
今後は、リユース食器の利用についても検討して参りたい。

夏季研修会に参加しました

26.8.9 山口代表と共に！



毎月の街頭活動



毛呂山支部街頭
(天谷木地内)



ピンク・オレンジ街頭
(大宮駅)

毛呂山支部大会開催 10.29



認知症サポーター養成講座開催 11.5

